




羅漢の棲む処

羅漢寺石仏重要文化財指定10周年記念特別展



令和7年

3/15(土) ▶ 5/6(火)

 中津市歴史博物館

開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(5/5・6は祝日・休日のため開館)

観覧料：一般300円・団体100円(20人以上)

中学生以下無料・障がい者割引有

令和6年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

五百羅漢園(大徳寺所蔵/奈良国立博物館画像提供)・五百羅漢園(東福寺所蔵)・
五百羅漢園(大徳寺所蔵)・五百羅漢園(東京国立博物館所蔵/Image TNM Image
Archives)・五百羅漢園(壇上寺所蔵)

羅漢の棲む処

EVENT

要予約 参加無料

会場：新中津市学校 定員60名
申し込みは中津市歴史博物館まで

01 記念講演

羅漢寺石仏の特質と重要文化財指定

講師 奥健夫氏（武蔵野美術大学教授）

令和7年3月22日（土）13:30～15:30

02 記念講演

大陸の絵画資料から見た 羅漢寺の五百羅漢石仏

講師 井手誠之輔氏（九州大学大学院教授）

令和7年4月26日（土）13:30～15:30

トークセッション

ここを伝えたい！羅漢さんの魅力

講師 岩田朋子氏（龍谷大学龍谷ミュージアム学芸員）

西谷功氏（花園大学准教授）

本多潤子氏（相国寺承天閣美術館学芸員）

令和7年4月12日（土）13:30～16:30

※講師は肩書きは3/15現在



ギャラリートーク 予約不要・要観覧料

第1回

令和7年3月16日（日）
10:00～11:00

第2回

令和7年4月19日（土）
14:00～15:00

1:五百羅漢園（大徳寺所蔵/奈良国立博物館画像提供）/2:五百羅漢園（円覚寺所蔵/鎌倉国宝館画像提供）/
3:五百羅漢園（東福寺所蔵）/4:五百羅漢園（増上寺所蔵）/5:仏伝浮彫「マラの誘惑・降魔成道・初転法輪」
（龍谷ミュージアム所蔵）/6:木造五百羅漢像（五百羅漢寺所蔵）/7:三光国師群石（雲樹寺所蔵）
8:石造摩訶童子像（宝蔵寺所蔵）



写真展 同時開催 観覧無料

五百羅漢修復 祈りの継承

（東京目黒・五百羅漢寺）

写真：千代田路子 映像：松山瑞樹

令和7年

3月15日（土）～5月6日（火）

会場：中津市歴史博物館
オープンギャラリー



修復家・後井武志による
五百羅漢像の修復の様子を伝える
修復の記録

中津市本耶馬溪町にある禅利・羅漢寺は、暦応元年(1338)に僧・円奘昭覚によって開かれました。耶馬溪特有の岩壁や岩窟を羅漢の聖地・中国天台山に見立てた寺域には、あたかもそこで修行生活しているように五百羅漢の石仏が配置されています。この羅漢像は、正平14年(1359)に入山した僧・逆流建順が円奘とともに企画し造立したものです。石仏群の図像は宋元時代に大陸で作成された五百羅漢図に共通し、禅宗の伝播・受容とともに日本に招来された文物や思想がベースとなって、石仏群が造られたことがうかがえます。羅漢信仰が広がった江戸時代には民衆の信仰を集め、参詣者が絶えない寺院として発展しました。このような背景が調査により明らかになった羅漢寺石仏は、歴史的・美術史的評価により平成26年(2014)に重要文化財に指定されました。本展覧会では指定10周年を記念して、羅漢寺石仏を取り巻く多様な文化財を展示紹介いたします。



中津市歴史博物館

〒871-0057

大分県中津市1290番地(三ノ丁)

TEL(0979)23-8615

FAX(0979)23-8616

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝日の場合その翌日）

駐車場：22台



<https://nakahaku.jp>

